

1月 校長室だより

平成31年1月 大阪市立淀川中学校 校長 二上和正

あけましておめでとうございます

本年もよろしくお願いいたします



かつて松尾芭蕉は「奥の細道」の冒頭で「月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり」と、月、日という、過ぎゆく時間を止まることがない旅人にたとえました。

古い年は去り、新しい年が来る正月は普段はあまり感じる時間がない時の流れを否が応でも感じさせる。今年は特に平成最後と言うことで、平成の時代を振り返ると同時に新しい未来への期待や希望を語る、そんな年になりそうです。

すでに皆様にはお伝えしていますが、本校においてまもなく仮校舎の建設、それに続き校舎の建て替えが始まります。途中一年間工事の中断をさみ、全ての工事が終わるのが5年後の予定です。本校を卒業された皆様

にとっては、一つ一つの教室に友人との思い出が詰まっているのではないのでしょうか。中庭の藤棚の下でのベンチで過ごした昼休み、たそがれコンサートで思いっきり演奏した吹奏楽部のOBの皆さんにとっては中庭の石の舞台は忘れられない最高の思い出ではないのでしょうか。

中庭には他にも校訓の碑、若葦の碑、校歌を記した美しい石版など、たくさんの記念碑と記念樹で飾られています。日々私たちはそれらを目にし、先輩たちの本校への深い愛情を感じながら、他の学校にはない素晴らしい中庭の風景を楽しんできました。この度の工事ではどうしても中庭を残しておけないということで、皆様にそのことをお伝えしたところ、地域の皆様からも惜しむ声を頂戴いたしました。

工事の期間中は生徒の皆さんには運動場が十分に使えない、仮校舎での生活など、たくさんの協力をお願いしなければなりません。できる限り皆さんには安全はもちろん、楽しい学校生活が送れるように工事中の環境整備に努めてまいりたいと考えています。

我が淀川中学校にとって、今年は60年の歴史を引き継ぎ、さらに新たな歴史への扉を開ける一年となりそうです。地域の皆様にはお世話になることが多々あると思いますが、よろしくお願いいたします。

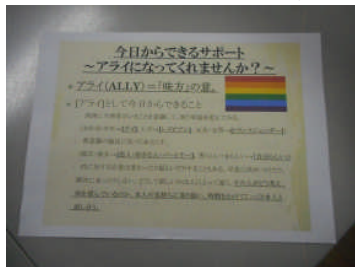
人権講演会

12月8日(土)土曜授業として参観授業と人権講演会を行いました。講師として生野区の中川小学校から韓文亨(ハンムニョン)先生をお招きし、「多文化共生」についての講演とワークショップを行っていただきました。国籍とは何か。ワールドカップのサッカー代表とラグビー代表の違いについてお話ししていただきました。サッカーは国籍を重視するのに、ラグビーはあまり重視しない。両方ともイングランド発祥のスポーツであるが、ラグビーは体がぶつかり合い危険なため、サッカーほど世界中に広がりにくかった。そのためイングランド出身の選手たちが世界中に普及活動を行った。そして各国の代表チームにイングランド出身の選手が名を連ねることになった。その伝統が今も引き継がれているということを教えていただきました。



ここ数年世界中から多くの方たちが日本に訪れるようになりました。誰もが外国の方たちとおつきあいをするのが日常になっていきます。異なる伝統や文化を正しく学び、そして尊重する心がますます求められます。謙虚な心と寛容な心、この二つの心が相まってこそ相互理解がもたらされるのではないかと思います。生徒の皆さんには、今世界中で起きていることを知りそして考え、平和で明るい社会とは何か、未来はどうあるべきかを常に考え続けてほしいと思います。

LGBTについての学習会



本校では毎年2年生でLGBTについての学習会を行っています。この世の中に自分という人間は一人しかいない。自分にとって当たり前なことでも人にとっては当たり前でないのが当然である。自分がされたり、言われたりしても平気であるからと言って、相手も平気であると考えるのは大きな間違いである。絶えず自分の言動を振り返り、人に対してどんな思いを与えているかを振り返ることが大切です。人を思いやるとは相手の心を想像することではないでしょうか。

1月の主な行事

7日(月)始業式 8日(火)～9日(水)3年第5回実力テスト
10日(木)1・2年チャレンジテスト 12日(土)土曜授業参観 25日(金)私立高等学校出願
30日(水)～2月1日(金)3年学年末テスト

